

# Aichi Sky Expo における交通アクセス対策検討のための調査業務 検討結果報告書

## 1 はじめに

- ・本業務では、Aichi Sky Expo で開催される大規模催事における交通アクセス対策を検討することを目的として、2020年9月と2021年3月にそれぞれ開催された大型産業展示会を調査対象として、無料シャトルバスを試験的に運行した。
- ・調査対象催事の会期中を通して、名古屋駅・豊田市駅・刈谷駅と Aichi Sky Expo を結ぶ無料シャトルバスを運行することで、路線別及び時間帯別の利用状況を把握するとともに、車内でアンケート調査を実施し、利用者ニーズを把握した。
- ・併せて、会期中の鉄道及び車による利用者数を調査することで、調査対象催事における Aichi Sky Expo への来場者の動向を把握した。
- ・これらの調査結果をもとに、県内バス事業者への聞き取りも行いながら、今後の Aichi Sky Expo における大規模催事開催時の交通アクセス対策として、シャトルバスの運行可能性を検討した。
- ・なお、本業務は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント開催制限等が継続する中、無料シャトルバスの運行にあたっては、貸切バス旅行連絡会の「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」を遵守して実施した。

## 2 調査対象催事の来場者の動向

### ○調査対象催事の概要

	催事A	催事B
時期	2020年9月	2021年3月
会期	平日3日間	平日4日間
来場者数	約3,500人/日平均	約3,000人/日平均
シャトルバス 運行間隔	名古屋駅路線：30分間隔 <sup>※1</sup> 豊田市駅路線：30分間隔 刈谷駅路線：60分間隔 <sup>※2</sup>	名古屋駅路線：20分間隔 豊田市駅路線：60分間隔 刈谷駅路線：60分間隔
運行時間帯	往路は午前のみ 復路は午後のみ	往路は午前のみ 復路は午後のみ

※<sup>1</sup>ピーク時は15分間隔で運行、※<sup>2</sup>ピーク時は30分間隔で運行

### ○来場者の動向

- ・全体の傾向として、催事Aでは鉄道利用者が約38%、自動車利用者が約55%、無料シャトルバス利用者は約7%、催事Bでは鉄道利用者が約45%、自動車

利用者が約 44%、無料シャトルバス利用者は約 11%であった。

- ・会期中と通常時（Aichi Sky Expo で催事開催なし）とを比較すると、催事 A では通常時と比べて鉄道利用者は約 1.5 倍、有料道路利用台数は約 2.9 倍、催事 B では鉄道利用者は約 1.6 倍、有料道路利用台数は約 2.3 倍となった。大規模催事の開催を通じて、無料シャトルバスを運行するとともに、鉄道・有料道路の双方の利用者が増加した。

### 3 無料シャトルバスの運行結果

#### (1) 発着所

- ・調査対象催事である催事 A・催事 B のいずれも、名古屋駅、豊田市駅、刈谷駅及び Aichi Sky Expo の 4 箇所に発着所を設置した。

##### ○名古屋駅

- ・名鉄バスセンター 4 F の臨時バス乗り場となる 21 番のりばを使用した。
- ・その際、誘導員を名古屋駅構内及び名鉄バスセンター 4 F へ設置するとともに、バスセンター内の電光掲示板で案内表示を行った（催事 B のみ）。
- ・なお、利用者アンケート結果によると、名鉄バスセンター以外の候補として、県外来場者からは「太閤通口」のニーズがあった。

	名鉄バスセンター	太閤通口
アクセス	名鉄名古屋駅から至近	新幹線改札口から至近
場所	屋内	屋外
使用料※ <sup>1</sup>	有料（2,200 円／回）	有料（1,000 円／回）
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前予約制</li> <li>・専用のりばとして使用可</li> <li>・電光掲示板あり※<sup>2</sup> （有料：22,000 円／回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前予約制</li> <li>・配車時間より 10 分間の使用</li> <li>・南北 2 か所があり、使用日の約 1 週間前に管理者が決定</li> </ul>

※<sup>1</sup>使用料における「回」はバス出発 1 回につき発生

※<sup>2</sup>電光掲示板は 1 回分の料金で運行期間中を通じた表示が可能

※<sup>3</sup>金額はいずれも税込

##### ○豊田市駅

- ・名鉄トヨタホテル前に設置（既存の空港バス（名鉄バス（株）が運行）と同じ発着所を使用）。同ホテルの敷地内であるため、事前にホテル側の了承を得た上で設置した。
- ・名鉄豊田市駅から歩行者デッキで直結しており、案内表示としてデッキ上に誘導員を配置し、プラカードを掲示した。

##### ○刈谷駅

- ・北口広場のロータリー内に設置。共有スペースであるため、事前の届出は不要。

- ・JR刈谷駅から歩行者デッキで直結しており、案内表示としてデッキ上に誘導員を配置し、プラカードを掲示した。

○Aichi Sky Expo

- ・正面エントランスのすぐ手前に設置が可能であるため、利用者にとって利便性が高かった。また、同時に縦列で最大バス6台分の発着所を設けることが可能。
- ・ただし、常設の発着所はないため、催事の会期中に目印となる案内看板を設置した（一部の看板は主催者負担で設置）。
- ・バスの運行間隔が空く場合のバス待機場所として、Aichi Sky Expo 敷地内の大型バス待機エリア等を利用した（当該エリアに他の利用がなかったため）。

**（２）運行ダイヤ**

○名古屋駅路線

- ・利用者が多いことを想定し、催事 A では 30 分間隔（往路の 8:30～10:30 及び復路の 17:30～終了までは 15 分間隔：バス 9 台）、催事 B では 20 分間隔（バス 8 台）で設定。
- ・所要時間は 60 分で設定（高速道路及び有料道路を利用）。

○豊田市駅路線

- ・催事 A では 30 分間隔（バス 5 台）、催事 B では 60 分間隔（バス 3 台）で設定。
- ・所要時間は 70 分で設定（高速道路及び有料道路を利用）。

○刈谷駅路線

- ・催事 A では 60 分間隔（往路の 8:30～9:30 及び復路の 17:30～終了までは 30 分間隔：バス 3 台）、催事 B では 60 分間隔（バス 3 台）で設定。
- ・所要時間は 50 分で設定（有料道路を利用）。

※バス台数は、本業務による台数に加えて、主催者の負担による追加台数を含む。  
以下、運行ダイヤ表や乗車率等における集計においても同じ。

<催事 A の運行ダイヤ表>

名古屋駅路線		豊田市駅路線		刈谷駅路線	
往路発	復路発	往路発	復路発	往路発	復路発
7:30	13:30	8:30	14:30	8:30	14:30
8:00	14:00	9:00	15:30	9:00	15:30
8:30	14:30	9:30	16:00	9:30	16:30
8:45	15:00	10:00	16:30	10:30	17:30
9:00	15:30	10:30	17:00	11:30	18:00

9:15	16:00	11:00	17:30	12:30	18:30 <sup>※</sup>
9:30	16:30	12:00	18:00		
9:45	17:00	12:30	18:30 <sup>※</sup>		
10:00	17:30				
10:15	17:45				
10:30	18:00				
11:00	18:15 <sup>※</sup>				
11:30	18:30 <sup>※</sup>				
12:00	18:45 <sup>※</sup>				
12:30	19:00 <sup>※</sup>				

※最終日のみ、催事の終了時刻が1時間繰り上げであったため、バス運行なし

<催事Bの運行ダイヤ表>

名古屋駅路線		豊田市駅路線		刈谷駅路線	
往路発	復路発	往路発	復路発	往路発	復路発
7:30	13:30	8:00	14:00	8:30	14:00
7:50	13:50	9:00	15:00	9:00	15:00
8:10	14:10	10:00	16:00	9:30	16:00
8:30	14:30	11:00	17:00	10:30	17:00
8:50	14:50	12:00	18:00	11:30	18:00
9:10	15:10			12:30	—
9:30	15:30				
9:50	15:50				
10:10	16:10				
10:30	16:30				
10:50	16:50				
11:10	17:10				
11:30	17:30				
11:50	17:50				
12:10	18:10				
12:30	18:30				

**(3) 乗車率**

- 路線別の乗車率では、名古屋駅路線が催事Aでは往路36%、復路68%、催事Bでは往路50%、復路76%と高かった一方、豊田市駅路線及び刈谷駅路線は、催事A・Bのいずれも名古屋駅路線と比べると低い数値となった。
- 乗車率の高かった名古屋駅路線を見ると、時間帯別では8時台～9時台の名古屋駅発の往路便と、13時台～17時台までのAichi Sky Expo発（名古屋駅行

き)の復路便の利用者が多かった。また、いずれの運行日においても、往路に比べて復路の利用者数が多く、催事Aでは1.8倍、催事Bでは1.5倍となった。

- ・なお、産業展示会においては、県内ものづくり企業が集積する西三河地域からの来場者が数多く見込まれるが、豊田市駅路線及び刈谷駅路線からの無料シャトルバスの乗車率が伸びなかった要因として、自動車の地域別利用率の分析によると、三河・豊田方面からの自動車の割合が相対的に高かったことから、潜在的に自動車利用の傾向が強いことが見込まれる。

#### <路線別の乗車率>

	名古屋駅路線		豊田市駅路線		刈谷駅路線	
	往路	復路	往路	復路	往路	復路
催事A	36%	68%	3%	5%	15%	18%
催事B	50%	76%	6%	5%	11%	15%

※乗車率は、1便あたりの最大乗車人数を49人とし、催事ごとに、会期中を通じた路線別の実乗車人数の合計値から算出

- ・なお、利用者アンケート結果（複数回答可）によると、今回のシャトルバスを利用しようと思った理由として、催事A・催事Bともに、「無料で運行しているから」が約40%と最多であったが、「目的地まで直行で運行しているから」が約30%、「座って目的地まで行けるから」が約10%強と、シャトルバスの利便性を考慮しての回答も一定数あった。
- ・また、利用者の種別として、催事A・催事Bともに、「一般来場者」が約80%と多数であったが、往路の早朝の便や復路の夕方以降の便を中心に「出展者」が約20%となった。

#### (4) 事前の告知方法

- ・催事A、催事Bとも、主催者の協力を得て、催事の公式webページへ運行ダイヤを掲載し、来場者向けに利用促進を図った。
- ・催事Aでは、掲載のタイミングが会期の2週間を切った時期となったため、告知期間が短かった。一方で、催事Bでは会期の1か月以上前に掲載したため、往路の乗車率（特に名古屋駅路線）の上昇につながったものと思われる。
- ・なお、利用者アンケート結果（複数回答可）によると、今回のシャトルバスをどのように知ったかについて、催事Aでは「展示会公式webサイト」が49%、「バス発着所にある案内看板」が21%、「シャトルバスが運行されている様子を見た」が14%、催事Bでは「展示会公式webサイト」が60%、「バス発着所にある案内看板」が13%、「シャトルバスが運行されている様子を見た」が10%

であった。

#### (5) 新型コロナウイルス感染症対策

- ・無料シャトルバスの運行にあたっては、貸切バス旅行連絡会の「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」を遵守して、感染症対策を徹底した。
- ・具体的には、①各発着所に設置した誘導員により乗車前の検温を実施、②乗車時の手指の消毒、③車内でのマスク着用の呼びかけ、④車内での会話を控える呼びかけ、⑤車内での補助席利用の禁止、⑥利用者の氏名・連絡先・座席番号の把握、⑦降車後の車内消毒の実施などを行った。
- ・このうち、⑥利用者の氏名・連絡先・座席番号の把握については、利用者アンケートと兼ねて実施し、乗車前に各発着所の誘導員がアンケート用紙を配付し、降車時に車内の回収箱で回収した。
- ・なお、利用者アンケート結果によると、今回のシャトルバス運行における新型コロナウイルス感染予防対策について、催事A・Bともに、「十分であった」が80%以上であった。

### 4 バスの活用による輸送力強化策の検討

- ・今後の大規模催事におけるバスの活用による輸送力強化に向けて、バス事業者等への聞き取り結果をもとに、シャトルバス及び路線バス（既存の空港バス）の活用可能性について、以下のとおり検討した。

#### (1) 運行形態の検討

- ・Aichi Sky Expo で開催される大規模催事においてバスを活用する手法として、①貸切バスを利用してシャトルバスを運行する場合と、②乗合バスを活用して路線バスを定期運行する場合の2パターンが考えられる。

	①貸切バス	②乗合バス
形態	シャトルバス	路線バス
依頼先	旅行業者等	バス事業者
手続き	旅行業者と契約し、旅行業者はバス事業者へ再委託	バス事業者へ事業計画を提出し、バス事業者から運輸局へ申請
経費負担	委託契約の内容による (例：主催者による負担等) ※利用者負担の導入も可 (徴収は旅行業者等が代行可)	利用者負担
ダイヤ・車両確保	催事規模に応じて、ダイヤの策定や車両の増台・減台が可能	路線の性質上、ダイヤの改定や車両の増台・減台が困難

発着所の 設置	状況に応じて設置・撤去が可能 ※申請が必要な場合あり	発着所は固定
根拠	標準旅行業約款	道路運送法

## (2) 既存の空港バスの活用可能性の検討

- ・Aichi Sky Expo と直結する中部国際空港は、中部エリアの各都市とを結ぶ空港バス路線が充実しているため、Aichi Sky Expo へのアクセス手段の一つとして、既存の空港バスの活用可能性を検討した。

### ○主な路線（新型コロナウイルス感染症の影響前）

	名古屋駅方面から	豊田市駅方面から	刈谷駅方面から
運行会社	名鉄バス(株)	名鉄バス(株)	知多乗合(株)
出発地	名鉄バスセンター	名鉄トヨタホテル	刈谷駅
到着地	中部国際空港第1ターミナル		
所要時間	90分*	85分	50分
運行便数	往路14便 復路17便	往路18便 復路18便	往路14便 復路13便
料金	1,300円	1,900円	1,350円

※名古屋駅からの空港バス（セントレアリムジン）は名古屋市内の主要ホテル等を経由して運行

### ○空港バスの運行状況（2021年3月時点）

- ・名古屋駅方面からのセントレアリムジンは全便運休中
- ・豊田市駅方面からの空港バスは減便して運行中（往路4便/日、復路3便/日）
- ・刈谷駅方面からの空港バスは減便して運行中（往路1便/日、復路1便/日）

### ○空港バスの活用に向けて

- ・Aichi Sky Expo の特徴として、週によって催事開催の有無や開催の曜日が変わるため、バスの利用者ニーズは変動要素が大きい。
- ・既存の空港バスの増便にあたっては、継続的な需要が見込まれるかがポイントとなるため、Aichi Sky Expo で大規模催事が定期的開催されることが必要となる。また、バス事業者がAichi Sky Expo への路線バスを期間限定で運行する場合においては、道路運送法に基づき、事前に関係行政機関との調整が必要となる。
- ・新型コロナウイルスの影響により、既存の空港バスの減便・運休が続いているため、今後の活用にあたっては、中部国際空港の航空需要の回復状況を考慮する必要がある。
- ・なお、利用者アンケート結果によると、普段の中部国際空港島への交通手段と

して、催事 A・催事 B ともに、「鉄道」が約 70%、「自家用車」が約 20%である一方、「空港バス」は約 4%であった。

- ・また、Aichi Sky Expo でのイベント開催時に空港バスが増便される場合の利用希望について、催事 A・B ともに、「利用したい」が 80%以上であった。

## 5 大規模催事におけるシャトルバス運行計画のシミュレーション

- ・今回の無料シャトルバス運行実績をもとに、想定の大規模催事において、利用者負担を導入し、主催者がシャトルバスを活用する場合の運行計画のシミュレーションは以下のとおり。

### ○設定条件

路線	名古屋駅路線
発着所	名古屋駅（名鉄バスセンター）、Aichi Sky Expo の 2 か所
所要時間	60 分
運行ダイヤ	20 分間隔（往路（午前）16 便、復路（午後）16 便）
バス台数	8 台／日
想定乗車人数	1,000 人／日・往復 ※乗車率 63.7%想定（催事 B 平均値）
利用者負担	①片道 500 円／人、②片道 1,000 円の 2 パターンを検討※

※参考として、空港バス運賃（セントレアリムジン）は片道 1,300 円、鉄道運賃（名鉄名古屋駅～中部国際空港駅）は片道 870 円

### ○運行計画のシミュレーション

費用		単価(円/日)	数量	金額(円/日)
貸切バス 手配経費	車両費用	137,500	8	1,100,000
	有料道路・のりば使用料	38,500	8	308,000
	バス乗務員諸経費	1,100	8	8,800
誘導員配置経費		24,200	8	193,600
計				1,610,400

※金額はいずれも税込

※上記以外に、案内看板を設置する場合は別途費用が必要

収入	単価 (円/片道)	延べ人数 (人/日)	金額 (円/日)
利用者負担（①片道 500 円の場合）	500	1,000	500,000
差額	—	—	△1,110,400

利用者負担（②片道 1,000 円の場合）	1,000	1,000	1,000,000
差額	—	—	△610,400



## ○考察

- ・シミュレーションのケースでは、シャトルバス運行にかかる1日あたりの費用として1,610,400円となった（案内看板を設置する場合の費用は除く）。
- ・収入として、シャトルバス利用者による負担として、①片道500円とした場合、差額となる△1,110,400円/日、②片道1,000円とした場合、△610,400円/日が主催者の負担となる。
- ・今後のシャトルバス運行にあたっては、利用者負担と主催者負担のバランスを図っていくことが考えられる。
- ・なお、利用者アンケート結果によると、同種の催事の際にシャトルバスが有料であった場合の乗車希望について、「希望する」が催事Aでは70%、催事Bでは62%であった。
- ・「希望する」と回答した者のうち、その際の利用者負担として、催事Aでは「500円程度」が80%、「1,000円程度」が20%、催事Bでは「500円程度」が77%、「1,000円程度」が21%であった。

## 6 まとめ

- ・調査対象催事での無料シャトルバス運行を通じて、平日にAichi Sky Expoで開催される展示会において、特に名古屋駅とAichi Sky Expoを結ぶシャトルバスへのニーズが高いことが分かった。
- ・調査を通じて、来場のピークとなる時間帯と鉄道路線のラッシュ時が重なるため、鉄道の増結・増便が困難な場合、バスがそれを補完する有効な輸送手段になると思われる。
- ・利用者アンケート結果によると、Aichi Sky Expoでのイベント開催時に有料のシャトルバスが運行する場合に「利用したい」との回答は60%以上、同じくイベント開催時に空港バスが増便した場合に「空港バスを利用したい」との回答は80%以上となるなど、大規模催事におけるバス活用の可能性があることが分かった。
- ・主催者によるシャトルバスの運行にあたっては、関係する法令に基づき料金徴収や経費負担の方法も含め、依頼先を検討する必要がある。また、一定の利用者負担を求める場合は、運行計画のシミュレーションを行い、利用者負担と主催者負担のバランスを図っていくことが必要となる。
- ・既存の空港バスの活用を検討する際は、Aichi Sky Expoにおける催事の開催状況や、大規模催事の開催頻度など継続的な需要が見込まれるかを考慮する必要がある。また、バス事業者がAichi Sky Expoへの路線バスを期間限定で運行する場合においては、道路運送法に基づき、事前に関係行政機関との調整が必要となる。

アンケート調査結果【催事A】

アンケート調査数：2,409件  
 アンケート集計数：1,633人(複数日・便乗車のダブルカウント分を除く)  
 アンケート未記入：240件

【問1】年代(○は1つ)

1. 10代	7	0.4%
2. 20代	206	13.1%
3. 30代	278	17.7%
4. 40代	364	23.2%
5. 50代	456	29.1%
6. 60代	201	12.8%
7. 70代	55	3.5%
1,567		100.0%

【問3】どちらからお越しになりましたか(○は1つ)

1. 名古屋	527	33.7%
2. 愛知県内	342	21.9%
3. 県外	694	44.4%
1,563		100.0%

【問3】-2:市町村

豊田市	41	13.1%
刈谷市	35	11.2%
一宮市	27	8.6%
岡崎市	25	8.0%
知立市	17	5.4%
春日井市	17	5.4%
安城市	16	5.1%
瀬戸市	11	3.5%
豊橋市	11	3.5%
小牧市	9	2.9%
日進市	7	2.2%
北名古屋	7	2.2%
豊明市	6	1.9%
長久手市	6	1.9%
大府市	5	1.6%
津島市	5	1.6%
みよし市	5	1.6%
大山市	6	1.9%
稲沢市	8	2.6%
豊川市	8	2.6%
尾張旭市	4	1.3%
西尾市	4	1.3%
蒲郡市	4	1.3%
岩倉市	4	1.3%
高浜市	3	1.0%
江南市	3	1.0%
清須市	3	1.0%
弥富市	3	1.0%
東浦町	2	0.6%
扶桑町	2	0.6%
大口町	2	0.6%
豊山町	1	0.3%
飛鳥村	1	0.3%
新城市	1	0.3%
東郷町	1	0.3%
あま市	1	0.3%
大治町	1	0.3%
蟹江町	1	0.3%
武豊町	1	0.3%
碧南市	1	0.3%
菱西市	0	0.0%
半田市	0	0.0%
常滑市	0	0.0%
東海市	0	0.0%
知多市	0	0.0%
阿久比町	0	0.0%
南知多町	0	0.0%
美浜町	0	0.0%
幸田町	0	0.0%
田原市	0	0.0%
設楽町	0	0.0%
東栄町	0	0.0%
豊根村	0	0.0%
313		100.0%

【問2】種別(○は1つ)

1. 出展者	275	17.6%
2. 一般来場者	1,250	79.9%
3. その他	40	2.6%
1,565		100.0%
問2-3:その他		
報道	0	

【問3】-3:都道府県

大阪府	138	20.1%
東京都	122	17.8%
神奈川県	76	11.1%
兵庫県	58	8.2%
静岡県	46	6.7%
岐阜県	38	5.5%
三重県	36	5.2%
京都府	30	4.4%
滋賀県	29	4.2%
埼玉県	25	3.6%
千葉県	16	2.3%
奈良県	11	1.6%
福岡県	7	1.0%
山梨県	6	0.9%
茨城県	5	0.7%
和歌山県	4	0.6%
北海道	4	0.6%
長野県	4	0.6%
石川県	3	0.4%
鳥取県	3	0.4%
広島県	3	0.4%
栃木県	3	0.4%
岡山県	3	0.4%
愛媛県	2	0.3%
岩手県	2	0.3%
群馬県	2	0.3%
福井県	2	0.3%
長崎県	2	0.3%
富山県	2	0.3%
熊本県	2	0.3%
宮城県	1	0.1%
福島県	1	0.1%
新潟県	1	0.1%
香川県	1	0.1%
青森県	0	0.0%
秋田県	0	0.0%
山形県	0	0.0%
鳥取県	0	0.0%
山口県	0	0.0%
徳島県	0	0.0%
高知県	0	0.0%
佐賀県	0	0.0%
大分県	0	0.0%
宮崎県	0	0.0%
鹿児島県	0	0.0%
沖縄県	0	0.0%
686		100.0%

【問5】シャトルバスの乗車には(○は1つ)

1. 往復利用(予定)	659	42.6%
2. 往路のみ	157	10.2%
3. 復路のみ	730	47.2%
1,546		100.0%

【問6】今回シャトルバスを利用した理由(○はいくつでも)

1. 無料	1,208	39.7%
2. 混雑回避	242	7.9%
3. 目的地まで直行	892	29.3%
4. 座って行ける	427	14.0%
5. 発着所の利便性	255	8.4%
6. その他	22	0.7%
3,046		100.0%

【問7】シャトルバスをどのように知ったか(○はいくつでも)

1. 公式Webサイト	744	48.8%
2. 展示場Webサイト・SNS	35	2.3%
3. その他Webサイト・SNS	24	1.6%
4. 案内看板	334	21.9%
5. 運行の様子を見た	214	14.0%
6. 同僚・取引先から	152	10.0%
7. その他	22	1.4%
1,525		100.0%

【問8】通常よく利用する交通手段(○はいくつでも)

1. 鉄道(名鉄線)	1,095	70.1%
2. 空港バス	69	4.4%
3. 自家用車	337	21.6%
4. 高速船	3	0.2%
5. その他	57	3.7%
1,561		100.0%

【問9】空港バスの定期運行について(○は1つ)

1. 知っている	612	43.6%
2. 知らない	792	56.4%
1,404		100.0%

【問9-1】利用の有無

1. 利用あり	193	32.1%
2. 利用なし	409	67.9%
602		100.0%

【問10】同種の催事の際、空港バスが増便した際の利用(○は1つ)

1. 利用したい	1,122	81.4%
2. 利用したくない	34	2.5%
3. 分からない	222	16.1%
1,378		100.0%

【問11】その他利便性の高いと思われる発着地(○はいくつでも)

1. 太閤通口	552	41.0%
2. 柴	270	20.1%
3. 金山	340	25.3%
4. 岡崎	62	4.6%
5. 豊橋	52	3.9%
6. その他	70	5.2%
1,346		100.0%

【問12】有料であった場合の乗車希望(○は1つ)

1. 希望する	978	70.0%
2. 希望しない	420	30.0%
1,398		100.0%

【問12-1】利用する際の運賃

1. 500円	733	76.7%
2. 1000円	200	20.9%
3. 1500円	11	1.2%
4. その他	12	1.3%
956		100.0%

【問13】新型コロナウイルス感染予防対策(○は1つ)

1. 十分であった	1,164	86.2%
2. 改善が必要	186	13.8%
1,350		100.0%

アンケート調査結果【催事B】

アンケート調査数:3,753件

アンケート集計数:2,387人(複数日・便乗車のダブルカウント分を除く)

アンケート未記入:595件

【問1】年代(○は1つ)

1. 10代	12	0.5%
2. 20代	286	12.0%
3. 30代	455	19.1%
4. 40代	623	26.2%
5. 50代	722	30.4%
6. 60代	244	10.3%
7. 70代以上	34	1.4%
	2,376	100.0%

【問3】どちらからお越しになったか(○は1つ)

1. 名古屋市内	571	24.1%
2. 愛知県内	357	15.1%
3. 愛知県以外の都道府県	1,443	60.9%
	2,371	100.0%

【問3】2. 愛知県内(市・町・村)

豊田市	48	15.4%
刈谷市	39	12.5%
岡崎市	21	6.7%
春日井市	18	5.8%
一宮市	17	5.4%
知立市	16	5.1%
安城市	14	4.5%
豊橋市	12	3.8%
稲沢市	12	3.8%
瀬戸市	11	3.5%
大府市	8	2.6%
みよし市	8	2.6%
蒲郡市	8	2.6%
日進市	8	2.6%
岩倉市	7	2.2%
犬山市	6	1.9%
西尾市	5	1.6%
長久手市	5	1.6%
豊川市	5	1.6%
蟹江町	5	1.6%
尾張旭市	4	1.3%
幸田町	4	1.3%
常滑市	4	1.3%
碧南市	3	1.0%
弥富市	2	0.6%
東浦町	2	0.6%
江南市	2	0.6%
小牧市	2	0.6%
豊明市	2	0.6%
津島市	2	0.6%
扶桑町	2	0.6%
あま市	2	0.6%
東海市	2	0.6%
東郷町	1	0.3%
高浜市	1	0.3%
北名古屋	1	0.3%
大口町	1	0.3%
蒙西市	1	0.3%
半田市	1	0.3%
清須市	0	0.0%
豊山町	0	0.0%
大治町	0	0.0%
飛鳥村	0	0.0%
知多市	0	0.0%
阿久比町	0	0.0%
南知多町	0	0.0%
美浜町	0	0.0%
武豊町	0	0.0%
新城市	0	0.0%
田原市	0	0.0%
設楽町	0	0.0%
東栄町	0	0.0%
豊根村	0	0.0%
	312	100.0%

【問2】種別(○は1つ)

1. 出展者	519	21.9%
2. 一般来場者	1,800	75.9%
3. その他	52	2.2%
	2,371	100.0%

【問2】3. その他

報道	2
講演者	1

【問3】3. 愛知県以外(都・道・府・県)

東京都	345	24.7%
大阪府	286	20.5%
神奈川県	114	8.2%
兵庫県	96	6.9%
埼玉県	68	4.9%
静岡県	65	4.6%
千葉県	64	4.6%
岐阜県	54	3.9%
京都府	52	3.7%
三重県	33	2.4%
滋賀県	33	2.4%
広島県	31	2.2%
福岡県	22	1.6%
奈良県	17	1.2%
岡山県	17	1.2%
石川県	14	1.0%
茨城県	13	0.9%
富山県	10	0.7%
栃木県	10	0.7%
山口県	8	0.6%
福井県	7	0.5%
北海道	6	0.4%
和歌山県	6	0.4%
新潟県	4	0.3%
長野県	4	0.3%
群馬県	4	0.3%
沖縄県	2	0.1%
佐賀県	2	0.1%
鹿児島県	2	0.1%
岩手県	1	0.1%
宮城県	1	0.1%
山形県	1	0.1%
山梨県	1	0.1%
島根県	1	0.1%
香川県	1	0.1%
愛媛県	1	0.1%
高知県	1	0.1%
熊本県	1	0.1%
青森県	0	0.0%
秋田県	0	0.0%
福島県	0	0.0%
鳥取県	0	0.0%
徳島県	0	0.0%
長崎県	0	0.0%
大分県	0	0.0%
宮崎県	0	0.0%
	1,398	100.0%

【問4】シャトルの乗車には(○は1つ)

1. 往路のみ乗車した	273	11.6%
2. 復路のみ乗車した	882	37.6%
3. 往復ともに乗車を予定している	1,193	50.8%
	2,348	100.0%

【問5】今回シャトルバスを利用した理由(○は3つまで)

1. 無料で運行している	1,681	41.6%
2. 混雑を避けられる	160	4.0%
3. 目的地まで直行で運行している	1,219	30.2%
4. 座って目的地まで行ける	509	12.6%
5. 発着所の利便性が高い	443	11.0%
6. その他	30	0.7%
	4,042	100.0%

【問6】シャトルバスをどのようにして知ったか(○は3つまで)

1. 公式Webサイト	1,473	60.4%
2. Aichi Sky Expo 公式Webサイト等	47	1.9%
3. その他のWebサイト・SNS広告	27	1.1%
4. バス発着所にある案内看板	312	12.8%
5. シャトルバスが運行している様子を見た	253	10.4%
6. 職場の同僚や仕事の取引先から	304	12.5%
7. その他	23	0.9%
	2,439	100.0%

【問7】通常、よく利用する交通手段(○は3つまで)

1. 鉄道(名鉄線)	1,517	65.4%
2. 空港バス	91	3.9%
3. 自家用車	519	22.4%
4. 高速船	4	0.2%
5. その他	189	8.1%
	2,320	100.0%

【問8】空港バスの定期運行について(○は1つ)

1. 知っていた	757	35.2%
2. 知らなかった	1,391	64.8%
	2,148	100.0%

【問8】1. 実際に利用したことはあるか

1. 利用したことがある	168	22.4%
2. 利用したことはない	581	77.6%
	749	100.0%

【問9】イベント開催時に空港バスが増便される場合、利用したいか(○は1つ)

1. 利用したい	1,753	82.6%
2. 利用したくない	29	1.4%
3. 分からない	339	16.0%
	2,121	100.0%

【問10】(今回の発着地以外で)設定すると利便性が高いと思われる発着地(○は3つまで)

1. 名古屋駅(太閤通口)	929	44.7%
2. 栄	402	19.4%
3. 金山	398	19.2%
4. 岡崎	99	4.8%
5. 豊橋	123	5.9%
6. その他	125	6.0%
	2,076	100.0%

【問11】同種の催事の際にシャトルバスが有料であった場合も乗車を希望するか(○は1つ)

1. 希望する	1,288	62.1%
2. 希望しない	787	37.9%
	2,075	100.0%

【問11】1. 運賃がいくら程度であれば乗車を検討するか

1. 500円程度	951	74.4%
2. 1,000円程度	296	23.1%
3. 1,500円程度	19	1.5%
4. その他	13	1.0%
	1,279	100.0%

【問12】新型コロナウイルス感染予防対策は(○は1つ)

1. 十分あった	1,713	83.6%
2. 改善する点がある	335	16.4%
	2,048	100.0%